

日本船舶海洋工学会関西支部
新年特別講演会・若手造船工作技術者パネル討論会のご案内

(社)日本船舶海洋工学会 関西支部

関西支部では、若手の造船工作技術者の交流を目的に、2007年度の早い時期から若手造船工作技術者技術交流会を組織し、各種産業の生産現場を訪問する活動を行なってきましたが、11月をもって本年の活動を終えました。2008年の新年特別講演会では、その報告を兼ねて若手造船工作技術者パネル討論会を行なうとともに、これに関連したテーマの講演を、津田尚輝学会長を講師にお迎えして開催いたします。講演会の後には交流会も予定しておりますので、多数のご参加をいただきますようご案内申し上げます。

なお、同日同場所にて13:30より支部臨時総会と支部長賞授賞式も執り行いますので、こちらをあわせてご参加いただければ幸いです。

記

日 時：2008年1月25日(金)

14:30～16:00 若手造船工作技術者パネル討論会

16:10～17:10 特別講演会

17:30～19:30 交流会

会 場：神戸クリスタルタワー3階クリスタルホール

(住 所)神戸市中央区東川崎1丁目1-3(JR神戸駅海側すぐ)

(連絡先)080-6135-0996(当日のみ有効)

参加費(交流会参加費):一般:5,000円,家族・学生:2,000円

若手造船工作技術者パネル討論会概要

テーマ:若手工作技術者から見た造船現場の現状と課題

技術交流会では、自動車生産、プロペラ生産、溶接システム生産の現場を見学し、それぞれの技術者らとの交流を重ねてきました。この交流を通じて得られた知見や提案を踏まえ、日本造船産業が、大規模造船工場を有する韓国造船産業の今と将来に対して、どう対抗していくべきなのかを討論します。

特別講演会概要

題目:工場現場から見た造船産業

講師:津田 尚輝(日本船舶海洋工学会 会長)

海事産業の好調はいつまで続くのか、日韓中の大競争時代を負けずにはどこに重点を置けばよいのか、工場の生産する力はこれからも重要な要素なのか、このような問題を論じながら、生産システムの歴史に触れ、工場の生産する力を強化するポイントを考えます。

お問い合わせ先

日本船舶海洋工学会関西支部事務局

TEL 06-6879-7593 FAX 06-6879-7594

E-mail office@kansai.jasnaoe.or.jp

以上